

2012 年度事業報告書

(2012 年 10 月 31 日 ～ 2013 年 3 月 31 日)

健康科学ビジネス推進機構

2012 年度事業報告書

1. 当機構の状況に関する重要な事項

(1) 概要

我が国において「ライフ・イノベーション」が“成長戦略の鍵”であり、「健康長寿社会」を実現するため「健康・医療」は重要な分野の一つとして据えられています。この「健康長寿社会」から創造される成長産業による生活の質（QOL）の向上には、科学的根拠（エビデンス）に基づいたイノベーションが特に重要と考えられており、それらを強力に推進することで、日本のみならず、グローバル規模でのビジネスチャンスが見込まれています。

このような状況の下、当機構は健康科学イノベーションの取り組みを充実・強化し、世界に先駆けてエビデンス（科学的根拠）獲得システムやその評価システムを確立し、新しい産業の一大拠点を形成するため、健康科学関連ビジネスの創造におけるエビデンス構築・評価の推進基盤を担う関西の産学官医の協働プラットフォームとして、2012年10月31日に設立されました。

2012年度の活動においては、当機構の設立目的を達成するため、役員会および事務局を設置し、事業を円滑に進める執行体制を構築・発展させました。（執行体制については、3. その他をご参照ください。）また、この執行体制の下、事業活動に着手し、精力的な展開を開始しました。（事業活動の詳細については、2. 事業活動をご参照ください。）

なお、現在（2012年3月末時点）の機構会員数は、一般会員30社、特別会員27機関の計57会員となっております。（会員数変動については、3. その他をご参照ください。）

(2) 事業活動

I. 健康科学におけるエビデンス構築支援

・エビデンス評価支援

エビデンス評価支援の実施に関わる体制を整備するため、エビデンス評価支援事業の実施要領、エビデンス評価マーク使用要領を策定しました。

また、癒やし快適分野において、健康科学に関するエビデンス評価のご相談および評価申込みがあり、エビデンス評価を実施しました（1件）。なお、本評価の実施にあたっては、要領等で規定した通り、「健康科学推進会議」の下に組成されている「健康科学評価・標準化研究部会」にエビデンス審査（一次および二次）を依頼し実施し

ました。

- ・相談窓口の開設と活動着手

エビデンス構築支援活動の展開に当たり、事務局に相談窓口を開設しました。2012年度内は、不定期とはなりましたが、専門的対応が可能な事務局職員の窓口対応日を設定し、相談を受ける活動に着手しました。

Ⅱ. 健康科学ビジネス創出および推進支援

- ・相談窓口の開設と活動着手

健康科学ビジネス創出及び推進支援活動の展開に当たり、事務局に相談窓口を開設し、対応に着手しました。

- ・健康科学ビジネスアワード実施に関する検討

すぐれた健康科学関連商品、サービスやその創出に対する取り組みを表彰する、健康科学ビジネスアワード（仮称）の創設を目指した体制整備に着手しました。

Ⅲ. 人材育成・普及啓発等、その他の支援

- ・ホームページの開設

当機構の事業紹介ならびに健康科学分野の広報、啓発および普及を目的として、ホームページを開設しました。また、このホームページを主たるコンテンツとした健康科学に関する情報発信サイトとして、「関西ヘルスサイエンスネットワーク」ポータルサイトの運営を行いました。

- ・メール情報の配信

ホームページでのニュース発信に加えて、当機構の活動状況を会員様のお手元に届けるため、メールマガジンの配信準備を行い、当機構が関連するイベントの予告や実施報告を中心に、概ね2回/月の発信を試行しました。

- ・セミナーの開催

2013年2月12日にリーガロイヤルホテル中之島センタービル3階「月の間」にて、(公財)大阪市都市型産業振興センター・(公社)関西経済連合会の協賛を得て主催し、会員向け体験型セミナーを開催しました。

同セミナーでは、厚生労働省の「慢性疲労症候群の実態調査と客観的診断法の検証と普及」研究班の代表研究者としてご活躍されている関西福祉科学大学教授倉常弘彦先生により、「疾病（慢性疲労症候群）・ストレスと疲労」をテーマにご講演いただきました。

さらに、株式会社疲労科学研究所のご協力を得て、測定体験「ECG（心電波）とPCG（脈波）による自律神経機能評価」も実施しました。

また、セミナー後の有志による交流会においても活発な意見が交わされました。

・講演会の開催

2013年3月14日に立命館大学びわこ・くさつキャンパスにて、会員向け講演会「第1回立命館大学シリーズ講演会」を立命館大学および（公社）関西経済連合会と共催しました。

同講演会では、同大学スポーツ健康科学研究センターの取り組みと健康ビジネスの隆盛について、同大学スポーツ健康科学部教授伊坂忠夫先生より、「スポーツ健康科学研究センターと産学官連携」をテーマにご講演いただきました。

さらに、伊坂先生をはじめとして、同大学同部准教授後藤一成先生、助手大塚光雄先生による「スポーツ健康科学部施設見学、実習会（パフォーマンス測定室ほか）」が行われました。

また、講演会後の有志による交流会においても活発な意見が交わされました。

・健康科学推進フォーラムへの協賛

2013年2月22日に神戸大学・梅田インテリジェントラボラトリにて開催された、健康科学推進会議・関西ライフイノベーション推進協議会共催の「第3回健康科学推進フォーラム」を協賛しました。

同フォーラムでは、「健康科学研究／イノベーションの現況」をテーマにした講演、「健康社会の実現に向けて」と題したリレー講演、「健康科学推進会議活動概説」の報告に加えて、当機構野島事務局長より「健康科学ビジネス推進機構の設立」について報告の機会を得ることができました。

IV. その他

・事務局移転準備

2013年夏に、うめきた・グランフロント大阪「ナレッジキャピタル」に進出す

る大阪市立大学「健康科学イノベーションセンター」と連携して、当機構の事務局も共同オフィス展開することを決定し関係機関との調整を実施しました。

2. 業務の適正を確保するための役員会の開催について

当機構では、役員会を2012年度は計5回開催しました。

第1回役員会

日時 2012年10月31日(水) 17:30~18:00

場所 公益社団法人関西経済連合会 297会議室

第2回役員会

日時 2012年11月29日(木) 15:00~15:45

場所 公益社団法人関西経済連合会 296会議室

第3回役員会

日時 2012年12月21日(金) 15:00~16:30

場所 公益社団法人関西経済連合会 303会議室

第4回役員会

日時 2013年2月14日(金) 16:00~17:15

場所 公益社団法人関西経済連合会 303会議室

第5回役員会

日時 2013年3月18日(月) 10:30~11:50

場所 公益社団法人関西経済連合会 303会議室

3. その他

(1) 執行体制

執行体制（50音順・2013年3月末時点）は次のとおりです。

役員	代表理事	阿部 孝次（公益社団法人関西経済連合会 理事）
		間 健一（関西バイオメディカルクラスター（KBMC）健康科学推進会議 顧問）
	監事	北野 義幸（大阪府商工労働部 理事／大阪バイオ・ヘッドクォーター）
		福島 公明（淀川キリスト教病院 事業統括本部長）
事務局	局長	野島 学（公益社団法人関西経済連合会 産業部長）
	局職員	鋤納 心（ソフトプラティカ株式会社 代表取締役）
		堀 洋（神戸大学連携創造本部 客員教授／千里ライフサイエンス振興財団 統括調査役／KBMC健康科学推進会議 議員・事務局長）
		前井 宏之（北浜国際特許事務所 所長・弁理士）
		松田 文雄（立命館大学研究部リサーチオフィス（BKC）産学官連携コーディネーター）

(2) 会員数変動

会員数の変動は下表のとおりです。

表1. 会員数の変動

	2012年10月31日時点 (設立時点)	2013年3月31日時点	増減
一般会員	24社	30社	+6
特別会員	14機関	27機関	+13
会員数	38会員	57会員	+19

以 上